



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2023年(令和5年)1月15日号 No.1913

目次

■ 制裁下のロシア経済と岐路に立つ対露ビジネス	中居 孝文 1
■ 統計速報	10
2022年1～11月の日本のロシア・NIS諸国輸出入通関実績／10	
2022年1～11月の日ロ貿易／11	
■ キーパーソン	15
年末にウズベキスタンで政府構造改革／15	
年始にカザフスタン政府人事刷新／17	
■ トピックス	18
旧日産工場でロシア車生産へ／18	
京都市、キーウに毛布とカイロを寄付／18	
損保大手のロシア海域船舶保険停止を回避／18	
「中央アジア+日本」対話・第9回外相会合開催／18	
日・アゼルバイジャン租税条約調印／19	
アゼルバイジャンと航空貨物で連携強化／19	
ロシア、プライスキャップに対抗措置／19	
日ロ地先沖合漁業交渉が妥結／19	
年末に露中首脳がオンライン会談／20	
ロシアがガス債務の外貨建て返還を容認／20	
道銀、ユジノサハリンスク事務所を閉鎖へ／20	
日本政府によるウクライナ復興支援／21	

制裁下のロシア経済と岐路に立つ対露ビジネス

(一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所
所長 中居 孝文

はじめに

2020～2021年と2年間にわたる新型コロナの流行の影響で、日ロビジネスは様々な活動制限を受けた。2022年に入って、世界的に行動制限が緩和される機運が高まり、日ロビジネスも本格的に再開かという時に、ロシアによるウクライナ侵攻がすべてを一変させた。本号では、ウクライナ侵攻後の西側による対ロ制裁とそのロシア経済への影響、また戦争・制裁下での外資の動きとロシアによる撤退対抗措置といった切り口から2022年を振り返り、今後を展望してみたい。

なお、本レポートでは、ロシア大統領やロシア政府決定など各種行政文書に言及しているが、これら文書については、すべて日本語の仮訳があり、ロシア語の原文を含めて以下のサイトから閲覧できるので、必要に応じてご参照いただきたい。